

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

頭頸部領域手術における術後嘔気嘔吐の発生率及び
オンダンセトロンによる予防効果

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 関谷 慶介（麻酔科蘇生科 助教）

【研究の目的】

全身麻酔は麻酔後に吐き気が起きやすいことが知られています。特に若年層、女性、麻酔方法、手術内容などが関与すると言われていています。この吐き気は入院期間を長くなったり、場合により誤嚥性肺炎など重篤な合併症を起こす危険性があります。今回、若い方が手術を受ける可能性の高い口腔外科手術や、嘔吐中枢を直接刺激する脳の手術などで、吐き気どめの薬剤（オンダンセトロン）を投与した場合に効果があったか後方視的に調査し、その因子を明らかにすることでより良い周術期管理を行うことができるようにすることを目的としています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2020年4月1日から2025年7月31日に愛媛大学医学部附属病院で手術を受けられた患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、現病歴、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況、入院期間、麻酔記録等

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜情報の管理責任者＞関谷 慶介」（愛媛大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科）

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院麻酔科蘇生科 関谷 慶介
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5383